

「集団的自衛権行使は品川の若者を『戦地』に送る。濱野区長は反対を」

777億円の基金で

紙おむつ支給、緊急通報システムなど「23区最低」の底上げを

「23区最低の品川の福祉」一覧

■紙おむつ支給

○在宅の紙おむつ一支給枚数は23位。財源は品川区ともう1区は寄付金、21区は税金

入院時現金支給なしは、品川区だけ

■高齢者・障害者の緊急通報システム

○年間9600円（月800円）の有料。他17区は低所得者無料。有料6区で一番に高い方。

■障害者福祉タクシー券の支給枚数

○月2300円分で22位。23区平均は3300円

■難病手当

○月1万円で23位。17区は1万5千円以上

■身体障害3級と知的障害4度の障害者福祉手当

○月4500円で22位

■障害者の施設整備率

○障害者のグループホームやケアホーム20位

○就労支援施設B型22位

■高齢者の施設整備率

○老人保健施設21位（4年後の2か所目含む）

○特養ホーム15位（増設予定の3か所含む）



本会議場を埋め尽くした傍聴者
77の傍聴席があふれ、区議団控室にも数10人

濱野区長は各地で品川の財政力は「全国No.1」と自慢。南議員は、紙おむつ支給、緊急通報システム利用料など左記の内容を示して、「777億円の基金は、福祉を『23区最低』にしてため込んだもの。福祉の底上げに使え」と求めました。



党区議団が「高齢者入院支援金条例案の実現を提案」と宣伝（6月25日、大井町）

底上げ求め請願に
傍聴者から声上がる

「『23区最低の品川の福祉』にビックリ。みんなで底上げ求める請願に取り組みましょうよ」。傍聴者された方が口々に語っていました。

南恵子議員が厳しく追及

23区最低の品川の福祉の底上げを

南議員は「集団的自衛権行使とは、日本に対する武力攻撃がなくとも、他国のために戦争をすること。アメリカが引き起こす戦争に自衛隊が参戦し、日本の若者が血を流すこと。反対を」と求めました。しかし区長は、「自治体の長としての見解は控える」と答弁を拒否しました。南議員は「区主催の自衛隊入隊者激励会で、区長が送り出す品川の若者が『戦地』に出向くことになる。このことになんかの痛みも感じないのか」と厳しく追及しました。

6月26日から始まった区議会定例会。共産党は、南恵子区議団長が一般質問に立ち、安倍自公政権が進める集団的自衛権問題に対する濱野区長の立場と、濱野区長が進める道路や開発推進の一方で「23区最低の品川の福祉」の問題を取り上げました。



品川区自衛隊入隊者激励会（3月。真中が濱野区長。区HP）

道路と再開発

区の世論調査に「住み続けたい」と答えた91.5%の区民を追い出す

日本共産党が提案

ストップ

防災と偽り税金投じ住民追出し

29号線、28号線、放射2号線に1000億円。再開発にすでに1069億円

南議員の質問を通じて、29号線などの道路計画の目的に道理がないこと、住民の納得が得られていないことが明らかに。このまま進めば、品川の街が壊されます。

●29・28号線・放射2号線道路

①住民との「合意なし」

29号線の住民1001人の不服審査請求と、各地に反対運動の広がりを示して「住民に理解されていると思うか」と迫ると、今後「移転のための相談会はやっていく」と繰り返すだけ。「合意なし」を認めました。

②「防災のため」は総崩れ

「車両火災の検証もなし」、都の「シミュレーション」も、道路までは燃え尽き、道路の両側で火災が発生すれば残るのは道路だけ。都も「シミュレーションは道路で焼け止まるかどうかを検証したもので、防災の効果を検証したものではありません」と答弁。「命の道路」は、住民をダメす口実。

③「交通の円滑化」説明なし

東京都の認可申請書の「理由」の第1に掲げた「交通の円滑化」は、住民説明会では説明がなかったの問いに、「説明会で渡したパンフに書いてある」とヒトを食ったような答弁。

●再開発でも

巨額の税金投入による超高層ビル開発は、「国際都市品川」「オリンピックのため」の鳴り物入りで、今後も、品川駅、武蔵小山駅、大崎・五反田地域、広町など大井町駅周辺へと品川中に広げ、29号線などの沿道の高層化計画も進める計画です。



■101人の不服審査請求—込められた思い

■静かな生活が壊される。空気を汚さない。防災の役には立たない(84歳・女) ■商店街が分断され買い物が大きな不便。これからもっと高齢者が多くなる(70歳・女) ■道路のこと考える不安。生きた心地がしない(88歳・女) ■近所に代替地を入手できる保証がない。住み慣れた土地を離れるのはストレス。高齢者所帯のため引越し困難(83歳・男) ■建て替え費用が持ち出しに。かかりつけの病院が遠くなる(83歳・女) ■家を新築したばかり。排気ガス・騒音などで平和な街を壊す(84歳・女) ■近くに国道。渋滞していい。道路必要ない(51歳・男)



実現全力

請願 9本
陳情 2本

請願) 特定整備路線放射2号線の計画中止を求める(393筆) 気軽に通えるよう特別養護老人ホームを区内につくことを求める(289筆) 特養ホームの増設を求める(2122筆) 解釈改憲による集団的自衛権の行使容認に反対する意見書提出を求める(377筆) 認可保育園増設と保育の質の向上を新制度施行後も区の責任で行うことを求める(4209筆) 大崎図書館の移転・実質廃館を中止し存続を求める(664筆) 区内を循環するコミュニティバスを求める(283筆) 区内を循環するコミュニティバスの運行を求める(507筆) 陳情) 補助28, 29号線と放射2号線の事業計画を白紙に戻すことを求める 御殿山小学校西側敷地に特別養護老人ホームと認可保育園の建設を求める(542筆) ()内は、添付された署名数

特養・保育園・住宅耐震化こそ

基金が777億円

認可保育園1000人規模の建設費2億円、運営費2億円。特養ホーム建設費1000人規模12億円余。基金のごく一部で充分可能です。さらに道路・開発につき込む税金投入をやめれば財源はふくらみます。

土地東京ドーム1ヶ分

区有地だけでも、荏原四中跡の学校貸出し後、旧第一日野小跡の貸出し変更、北品川に建設する老健施設への併設、契約終了後の劇団四季の土地、旧イトーヨーカドー隣の駐輪場、区営住宅建て替えとの合

防災対策

中央防災会議が住宅の耐震化、初期消火対策を徹底すれば倒壊・死者を想定9割削減できると報告。緊急に取り組むべきは、道路・開発でなく、この方向こそ急ぐべきだと考えます。

土地も、お金もあります

築など。

…区長の決断で、すぐに実現できます。